

出来秋本番へ 収穫期到来!!

7月29日に収穫を終えた小麦は、約616haの一般きたほなみの粗麦推定数量が約6万2千俵、10aあたり10.02俵（製品推定数量は約5万6千俵、10aあたり9.02俵、製品推定歩留り90%）となっております。前年と比べ粗麦数量は反収3.09俵下回る見込みとなっております。

種子きたほなみについては、約49haで粗麦推定数量が約5千2百俵、10aあたり10.46俵（製品推定数量は約4千5百俵、10aあたり9.20俵、製品推定歩留87.99%）となっており、前年と比べ粗麦数量は反収2.74俵、製品数量は反収3.01俵下回る見込みとなりました。

8月18日には、4年産種子小麦（きたほなみ）の等級鑑定検査が札内農協検査場で行われ、品位検査の結果、一等級と評価されました。



用途別	面積 ha	粗麦推定数量 俵	製品推定数量		規格外 俵
			俵	歩留 %	
一般きたほなみ 【反収】	615.63	61,703 【10.02】	55,533 【9.02】	90.00	6,170 【1.00】
前年		(13.11)	(12.32)	(93.96)	(0.79)
種子きたほなみ 【反収】	49.36	5,163 【10.46】	4,543 【9.20】	87.99	620 【1.26】
前年		(13.20)	(12.21)	(92.26)	(1.02)
合計 【反収】	664.99	66,866 【10.06】	60,076 【9.03】	89.85	6,790 【1.02】
前年		(13.12)	(12.31)	(93.83)	(0.81)

馬鈴薯については8月12日に本組合の坪堀り調査が行われました。結果を見ると、男爵の規格内俵数は51.7俵、メイクインは48.4俵、トヨシロは54.0俵となっています。ライマン価については、男爵は13.9%、メイクインは12.6%、トヨシロは13.5%となっており、トヨシロの規格内俵数、ライマン価とメイクインのライマン価は前年より低くなりましたが、それ以外につきましては前年より高くなっております。

でん粉原料用専用品種のコナヒメにつきましては、10aあたり総俵数が52.8俵、ライマン価18.7%となり、総俵数が前年を下回るもののライマン価は前年を上回る結果となりました。



	規格内俵数	10aあたり総俵数	ライマン価
男爵	51.7 (42.9)	56.8 (52.8)	13.9 (13.6)
メイクイン	48.4 (47.8)	54.1 (51.2)	12.6 (14.0)
トヨシロ	54.0 (61.8)	60.1 (65.5)	13.5 (15.2)
コナヒメ	—	52.8 (56.5)	18.7 (16.6)

※()内は前年数値

廃プラ回収

廃プラ回収が、7月8日に当農協野菜集出荷センターにて行われました。ラップフィルム等の農ビ・農ポリ、肥料袋やパックを組合員各自が自宅でパック詰めした後、野菜集出荷センターに持ち込み、担当職員が一つずつ確認しながらトラックから降ろしていきました。

回収された廃プラは約33tで、主に柵苦小牧清掃社へ運び込まれ、再資源化され多方面で利用されています。

廃プラ回収は、毎年2回行われており、次回は11月中旬に行われる予定となっております。



青年部夏期スポーツ大会



青年部主催の夏期スポーツ大会が、7月2日に依田公園「俳句村コース」にて開催されました。

新型コロナウイルス感染症の影響から3年ぶりの開催となり、青年部員18名、農協役員9名の合計27名が参加し、パークゴルフを行いました。

競技では、青年部員と農協役員の混合チームによる白熱したプレーが繰り広げられ、交流を深めることができました。

不要農機具等庭先回収

不要農機具等の庭先回収が、8月19日から24日の日程で実施されました。

毎年この時期に、有限会社タナベの協力のもとで農村環境美化のために使用不能になった農機具や雑品等の回収を行っております。

作業は事前に取りまとめを行い、申込みのあった38件の組合員宅へ回収業者が訪問し、回収品の重量や積み合わせを確認しながらトラックへ積み込みました。

本年度は昨年度よりも申込件数・回収量も多い結果となりました。

